

事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心・快適に利用できる複合型交流拠点の創出（防災・安全 第二期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	
I. 目標の妥当性 1) 整備計画の目標が地域の課題解決へ向けた対応となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が県民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果を発揮できる内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	
III. 計画の実現可能性 1) 想定日本海沖地震に備え、防災施設整備（防災公園整備）に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 継続的な防災体制整備及び公園利用促進の展開が見込まれる。	○

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月22日

計画の名称	安全・安心・快適に利用できる複合型交流拠点の創出（防災・安全 第二期）											
計画の期間	平成30年度 ~ 平成31年度（2年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	由利本荘市											
計画の目標	由利本荘総合防災公園は、由利本荘市地域防災計画において、地域防災拠点として位置づけられ、大規模災害発生時には、支援活動の集結場所、ベースキャンプとなる広いスペースの確保、また、緊急輸送路に面しているという特性を活かし、救援物資の集積・輸送拠点としての施設整備を図る。さらに、市街地に位置し、沿岸部に近接しているものの津波被害が及ばない地域と想定されているため、避難場所や屋内避難所として活用し、市民の安全な暮らしを支える総合的な防災機能と、スポーツやイベント等による健康増進・交流促進機能の向上を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,081	A	1,081	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30年当初)	中間目標値	最終目標値 (H31年末)
1	防災機能の向上を図り、一時避難者の受入可能人口を10,000人（H30）から20,000人（H31）へ増加させる。 施設整備後の公園施設面積等から一時避難者収容可能人数を算出する。	10000人	人	20000人
2	公園施設を整備することにより、年間の公園利用者数を44,000人（H31）へ増加させる。 施設整備後の年間公園利用者数を測定する。	0人/年	人/年	44000人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	H32	H33	H34				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	由利本荘市	直接	由利本荘市	-	-	都市公園整備事業(由利本荘総合防災公園)	広場、アリーナ、駐車場等	由利本荘市						1,081	-		
												小計						1,081		
											合計						1,081			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	540				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	540				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	350				
翌年度繰越額 (f)	190				
うち未契約繰越額 (g)	190				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	35.18				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	工事個所において、当初想定していなかった埋設物が見つかり、その調整に不測の日数を要したため				

(参考図面) 都市公園 (防災・安全)

計画の名称	1 安全・安心・快適に利用できる複合型交流拠点の創出 (防災・安全 第二期)	交付対象	由利本荘市
計画の期間	平成30年度 ~ 平成31年度 (2年間)		

**1-A-1
都市公園事業
由利本荘総合防災園**

施設名等
 ・アリーナ A=17,000㎡
 ・駐車場 A=20,000㎡
 ・多目的広場 A=20,000㎡

**災害時
避難施設**
 一次避難所
 一次避難所
 (救援物資中継所)

